

第27回ポリマー材料フォーラム

参加募集

主 題＝オールジャパンでポリマー材料を語り合おう！
会 期＝11月21日(水)～22日(木)
会 場＝タワーホール船堀
(江戸川区船堀 4-1-1 03-5676-2211)

予約登録締切

10月31日(金) [以降は当日申込]

<http://main.spsj.or.jp/pmf.html>

＜趣旨＞本フォーラムは、産学協同を目的とした材料に関する研究発表と交流のためのシンポジウムで、高分子材料の応用に関する最先端の情報が得られ、他分野のユーザーの方々との交流もできます。

日本の国際的なプレゼンス力が低下しているといわれている中、2017年は特許の国際出願件数もついに中国に抜かれ3位となる節目の年となりました。国際競争力向上のためには、産学官で2つの“きょうそう”を生み出すことが重要です。まずは「共創」、アカデミアと産業界が協力し合い、技術イノベーションを生み出すことが有力な手段となります。次に「競争」、関連する領域に競合相手がいて切磋琢磨することも非常に重要なことです。国内に複数の共創がなされお互いが競争関係にある、これが理想的な構図です。本フォーラムでは世界をリードする高分子材料技術の創出を目的に、“きょうそう”相手を見出すきっかけとなる、産官学の研究者が一堂に会して情報発信、意見交換を行う場を提供します。

今回は基本的には従来と同様各分野の動向を32件の招待講演でレビューしていただき、同時に約200件の研究発表(ポスター発表のみ)を設定しています。一部の講師の選定は他学協会と連携のもとに行いました。

本会の研究発表の特徴は「材料の開示を必須としない」ことであり、産業界からの積極的な情報発信を期待しています。丸一日というたっぷりのポスター時間を有効に活用して、自らの技術に関して存分に語っていただければ幸いです。今回は、産学連携のために新たな企画に取り組みます。ミキサー会場に隣接し大学研究室紹介ブース並びに企業からの情報発信ブースを設置し、お互いの会話を深める場という意味を込めてイブニングフォーラムと改称して運用します。また、年会のポスター賞受賞者招待ブースの設置なども計画しています。

さあ、会場へ参集して「オールジャパンでポリマー材料を語り合おう！」

主 催 高分子学会

協 賛 (予定)印刷インキ工業会 映像情報メディア学会 塩ビ工業・環境協会 塩ビ食品衛生協議会 応用物理学会 化学工業会 強化プラスチック協会 合成ゴム工業会 色材協会 自動車技術会 情報処理学会 シリコン工業会 石油化学工業協会 繊維学会 全日本プラスチック製品工業連合会 電気化学会 電子情報通信学会 日本印刷学会 日本ABS樹脂工業会 日本磁気学会 日本化学会 日本化学繊維協会 日本工業技術振興協会 日本合成樹脂技術協会 日本ゴム協会 日本ゴム工業会 日本材料学会 日本接着学会 日本接着剤工業会 日本塗装技術協会 日本塗料工業会 日本プラスチック工業連盟 日本レオロジー学会 表面技術協会 フィラー研究会 プラスチック循環利用協会 POF コンソーシアム 有機エレクトロニクス材料研究会 ラドテック研究会 セルロース学会 プラスチック成形加工学会

日 時 平成30年11月21日(水)～22日(木)

会 場 タワーホール船堀(江戸川区船堀4-1-1 電話03-5676-2211)

講 演 : 2F 瑞雲、平安 ポスター : 1F 展示ホール

発表形式と運営

1) プログラムは、招待講演(口頭)、研究発表(ポスター)となります。

11月21日(水)

招待講演: ADセッション, ポスター発表: BCセッション

11月22日(木)

招待講演: BCセッション, ポスター発表: ADセッション

2) 研究発表は、全てポスター発表とします。パネルの寸法はW180cm×H120cmとする予定です。ポスターの前にサンプル展示用の机(H73cm×W180cm×D60cm)を用意します。新製品、新素材の発表では、必ずしも完成度の高い物だけではなく、実験中に得られた興味深い事象なども気楽に発表できる場とします。

3) 研究発表のポスター掲示時間は、420分の予定です。プレゼンテーションタイムはそのうち60分です。さらに発表および討論をより活発にする目的で、コメントータが研究発表のブース[1ブース当り、10分間(説明7分、質疑応答3分)]を順次訪ね、発表者と参加者との交流を促す時間があります。

4) 21日に参加者全員の交流と懇親を目的としてイブニングフォーラム(ミキサー、参加費無料:自由にご参加ください)を開催します。

5) 研究発表の中から、優秀発表賞を選定し、会誌「高分子」で紹介するとともに定時総会後の授賞式で表彰します。なお、受賞希望申請されたもののみが審査対象となります。

6) プログラム編成は運営委員会に一任願います。

著作権譲渡について

講演予稿集に記載された内容に関するすべての著作権(翻訳権、オンライン化権、などを含む)は高分子学会に帰属します。

参加登録要領

参加者(発表者および聴講者)は全員参加登録制とします。

[参加登録料(正会員及び法人会員[維持・賛助]所属の方)]
(消費税込)

	予約参加登録	当日登録(会期中)
企業	21,600円	27,000円
大学・官公庁	13,000円	18,400円
学生・フェロー 終身・ゴールド・シニア会員	5,400円	8,100円
名誉会員	無料	無料
予稿集事前送付	可: 送料600円	不可

※非会員の参加登録料は、上記金額に20,000円(学生の場合は10,000円)追加になります。

※参加資格に齟齬があった場合、会期後に精算させていただきますので、ご了承ください。

予約参加登録期間

・発表者 6/27～7/11(送金期限8/31)

・一般参加者(聴講者) 9/3～10/31(送金期限10/31)

11月1日(木)以降は当日、会場での登録となります。

キャンセル期限

発表者 8月31日(金) / 一般参加者 10月31日(水)

※以降は、キャンセルのお申込があっても、予約参加登録料は返金できません。あらかじめご了承ください。

予約参加登録方法

① 予約参加登録期間内にホームページから予約参加登録申込を行ってください。

・ご登録のe-mailに申込受付番号を付した受理通知が返信されます。
・受理通知が届かない場合は正しく登録されていない可能性があります。必ず下記宛にお問い合わせください。

・請求書をご希望の場合は、申込受付番号取得後、

<https://cloud.dynacom.co.jp/pmf/>

にアクセス、「参加登録・確認」からログインの上、請求書発行ボタンから発行が可能です。請求書希望の場合も振込期限までに送金ください。

期限に余裕をもってご登録ください。

② 予約参加登録期間内に予約参加登録料をご送金ください。

・郵便局払込取扱票に①の申込受付番号を含む参加登録番号、参加者氏名、郵便番号、住所、電話番号、その他必要事項を記入し、郵便局からご送金ください。1人1枚使用のこと。郵便局払込取扱票の受領書を領収書にかえさせていただきます。原則として本会から別途領収書の発行は行いません。

③ 予約参加登録完了について

・予約参加登録期間内における上記①と②の受理をもって予約参加登録完了となります。(上記①②いずれかの場合は予約参加登録は無効、当日参加登録となります。)

・予約参加登録完了者には11月上旬に参加証のご案内をE-mailにて送付いたします。

連絡先

104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル

高分子学会 第27回ポリマー材料フォーラム係

電話 03-5540-3770, FAX 03-5540-3737

e-mail 27pmf@spsj.or.jp

第 27 回ポリマー材料フォーラム運営委員会

運営委員長 魚津 吉弘 (三菱ケミカル)
副運営委員長 伊藤 耕三 (東京大学大学院)

横澤 勉 (神奈川大学)

Aセッション

SO 相山 崇 (ライオン・スペシャリティ・ケミカルズ)
SO 高井 まどか (東京大学大学院)
秋山 映一 (相模中央化学研究所)
東 直樹 (旭化成)
鎌田 香織 (防衛医科大学校)
菊池 明彦 (東京理科大学)
芹澤 武 (東京工業大学物質理工学院)
田中 修吉 (日本電気)
長崎 幸夫 (筑波大学大学院)
野副 寛 (富士フィルム)
安田 知一

Bセッション

SO 真田 隆 (住友化学)
SO 生方 俊 (横浜国立大学大学院)
大倉 雅博 (AGC)
小柳津 研一 (早稲田大学)
神原 貴樹 (筑波大学大学院)
竹岡 裕子 (上智大学)
谷口 竜王 (千葉大学大学院)
富永 洋一 (東京農工大学大学院)

Cセッション

SO 植草 貴行 (三井化学)
SO 山登 正文 (首都大学東京大学院)
和泉 潤 (綜研化学)
伊藤 耕三 (東京大学大学院)
打田 聖 (東京工業大学物質理工学院)
吉川 佳広 (産業技術総合研究所)
桑折 道済 (千葉大学大学院)
内藤 昌信 (物質・材料研究機構)
早川 晃鏡 (東京工業大学物質理工学院)
弘中 克彦 (帝人)
吉田 勝 (産業技術総合研究所)

Dセッション

SO 真崎 仁詩 (JXTG エネルギー)
SO 青木 裕之 (日本原子力研究開発機構)
赤井 日出子 (三菱ケミカル)
石曾根 隆 (東京工業大学物質理工学院)
上原 宏樹 (群馬大学大学院)
河合 道弘 (東亜合成)
木原 伸浩 (神奈川大学)
角替 靖男 (日本ゼオン)
松谷 寛 (日立化成)
村木 孝仁 (日立製作所)
横澤 勉 (神奈川大学)

招待講演 (講演 40 分)

A, Dセッション 11月21日(水)
B, Cセッション 11月22日(木)

<11月21日(水)>

Aセッション (環境・ライフサイエンス関連分野)

※セルロース学会連携

- ※ 1 TEMPO 酸化セルロースナノファイバーとその応用展開 (東大院農) 磯貝 明
- ※ 2 変性セルロースナノファイバー強化プラスチックの高性能化 (京都市産技研) 仙波 健
- ※ 3 水中対向衝突法による疎水性セルロースナノファイバーの製造と特徴 (九大院農) 近藤 哲男
- 4 セルロースナノファイバーの実用化に向けた開発状況 (日本製紙) 河崎 雅行
- 5 セルロースナノファイバー不織布シート(CNF シート)の構造と特徴 (旭化成) 小野 博文
- 6 リグニンファーストによる植物バイオマスの変換プロセス (京大生存圏研) 渡辺 隆司
- 7 カニ殻由来の新素材「キチンナノファイバー」とヘルスケア (鳥取大院工) 伊福 伸介
- 8 人工構造タンパク質材料の社会実装と未来展開 (ImPACT) 鈴木 隆領

Dセッション (ポリマー材料の設計・合成・加工・解析)

※プラスチック成形加工学会、◎日本ゴム協会連携

- 1 リビングラジカル重合法を用いた高機能ポリマー“TERPLUS”の開発と工業化 (大塚化学) 河野 和浩
- 2 APEX 法によるナノグラフェン、グラフェンナノリボンの精密合成 (名大 WPI-ITbM, JST-ERATO) 伊丹健一郎
- ◎ 3 オゾン水がゴム・プラスチックに与えるダメージとその応用 (化学物質評価研究機構) 大武 義人
- 4 分子シミュレーションと最適設計技術を活用した高信頼性材料の高効率設計 (日立製作所) 岩崎 富生
- ◎ 5 高引裂きシリコンゴム及びそれを用いた柔軟伸縮配線材料の開発 (住友ベークライト) 岡田 潤
- ※ 6 微細孔発泡体の成形加工一現状と未来 (京大院工) 大嶋 正裕
- ※ 7 成形加工の視点から見た高性能ポリオレフィン材料 (東ソー) 阿部 成彦
- 8 中性子散乱によるソフトマター材料の解析 (東大物性研) 柴山 充弘

<11月22日(木)>

Bセッション (電気・光・情報・エネルギー関連分野)

※電気化学会連携

- 1 ナノ構造制御による光学フィルムの高機能化 (JXTG エネルギー) 西村 涼
- 2 高分子ファイバーフォトリソグラフィの最前線 (慶應大院理工) 小池 康博
- 3 車載 LAN の動向と光化への取り組み(応用最前線) (豊田中研) 各務 学
- 4 微小流体デバイスを利用した機能性微粒子開発 (東大院新領域) 鳥居 徹
- 5 イオン液体の電気化学 (産総研) 松本 一
- ※ 6 希少・毒性元素を使わない新型蓄電池の開発 (東理大院理) 駒場 慎一
- ※ 7 印刷型バイオ燃料電池とウェアラブルデバイスへの応用 (東理大理工) 四反田 功
- 8 有機薄膜太陽電池の材料開発と実用化 (東レ) 渡辺 伸博

Cセッション (高性能・高機能材料)

※日本接着学会連携

- 1 粒子配向型圧電ゴムの開発と圧電ゴムの鉄道分野への応用 (鉄道総研) 間々田祥吾
- 2 ナノ触診原子間力顕微鏡による高分子ナノ材料の解析 (東工大物質理工) 中嶋 健
- 3 流体機器の性能向上を実現するための表面バイオミネラルデザイン技術の開発 (日立製作所) 宮崎真理子
- 4 産総研・材料化学領域におけるスポーツ工学プロジェクトの紹介 (産総研) 原 雄介
- 5 動的イオン架橋エラストマーの分子設計と機能発現メカニズム (岐阜大工) 三輪 洋平
- 6 メソゲンエポキシ樹脂の機能発現と応用 (日立化成) 竹澤 由高
- ※ 7 建築用接着剤の耐久性 (セメダイン) 秋本 雅人
- ※ 8 次世代アクリル粘着剤の開発動向 (積水化学) 沼田 憲男